

濃厚接触のため 2 週間自宅待機・健康観察となった場合の書き方の例②

COVID-19 に関する経過記録

報告日時（提出する日） 令和 年 月 日

学群、学類、学科／学年			
学籍番号		氏 名	
連絡先 日中連絡がとれる電話番号			

事の発端から大学に登校再開するまでの経過(相談内容のメモやメール等でのやりとり)を記録してください。

月 日	連絡先について ※連絡手段、相手の所属 と氏名を記載すること	経過（連絡内容、自分の行動や症状等）
3月27日 9時	保健所〇〇課〇〇さんから電話を受ける	保健所から「あなたが3月18日に滞在していた飲食店Aにあなたと同時刻に、後に新型コロナウイルス感染症患者と判明した方が来店していた。濃厚接触者に該当する。14日間自宅待機して健康観察を行い、体調悪化がなければ健康観察期間終了として、接触者健診は行わない。もし体調悪化があれば連絡すること。」と指示を受けた。 数カ月前から現在まで体調良好で症状はない。
3月27日 10時	宮城大学健康支援室（保健室）に電話をかける	保健所から受けた指示を報告。健康支援室（保健室）から「保健所の指示通りとすること。健康観察期間の2週間は自宅待機の上体温測定を行い、シートに記録すること。体調が悪化した時は健康支援室に電話をすること。」と指示を受ける。本日午前中から、体調チェックと体温測定を行い、記録用紙への記入を開始した。
4月11日	大学へ登校開始	14日間の健康観察期間が終了した。その間体調良好で症状はなく、保健所から状況変化の連絡がなかったため、大学へ登校し本書類、学校感染症罹患届、体温測定記録を提出した。